

国際医療学講座 (感染制御部を含む)

著 書

- 1 青木洋介：ICD (infection Control doctor). 感染対策地域連携マニュアル, 2023, 8, メディカ出版.
- 2 浦上宗治：(全編). グラトレ グラム染色アプローチで最適な抗菌薬を選択できる！, 2023, 3, じほう, 東京.
- 3 浦上宗治：抗菌薬の基礎知識VI (その他の抗菌薬). 薬剤師のための感染制御マニュアル 第5版, 117-124, 2023, 5, 薬事日報社, 東京.
- 4 浦上宗治：新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の注目論文. Evidence Update 2024：最新の薬物治療のエビデンスを付加的に利用する, 11-14, 2023, 12, 南山堂, 東京.

原著論文

- 1 浦上宗治, 濱田洋平, 岡 祐介, 於保 恵, 角真太郎, 青木洋介：耐性腸内細菌目細菌に対する tazobactam/ceftolozane の pharmacokinetics/pharmacodynamics 解析. 日本化学療法学会雑誌, 71巻, 5号・6号合併号, 564-570, 2023, 11.

総 説

- 1 青木洋介：診断学における認知思考のピットフォール. 日本内科学会雑誌, 112, 3, 422-426, 2023, 3.
- 2 青木洋介：広すぎる「安全ネット」を安全に狭めるための“消去法”. 総合診療, 33, 7, 759, 2023, 7.
- 3 青木洋介：抗菌薬適正使用の実践に必要な「基本」：理論と行動科学. 総合診療, 33, 7, 772-774, 2023, 7.
- 4 青木洋介：肺炎. 総合診療, 33, 7, 780-784, 2023, 8.
- 5 青木洋介：三次医療機関における高齢者結核の特性. 結核・肺疾患予防のための複十字, No413, 26-27, 2023, 11.
- 6 青木洋介：第三者の介在する疾患：診断と治療の特性について. 日本内科学会雑誌, 112, 11, 2043, 2023, 11.
- 7 浦上宗治：耐性グラム陰性桿菌による尿路感染症に対する抗菌薬は何を選ぶ？. 月刊薬事023年10月臨時増刊号 これが決め手！ 同効薬の使いどころ, 167-174, 2023, 10.
- 8 浦上宗治：造血器腫瘍患者の真菌感染症予防薬は、何を選ぶ？. 月刊薬事023年10月臨時増刊号 これが決め手！ 同効薬の使いどころ, 186-192, 2023, 10.
- 9 濱田洋平：「一次検査所見」を抗菌薬要否の判断に役立てる. 総合診療, 33巻, 7号, 2023, 7.

症例報告

- 1 Kannae M, Oka Y, Hamada Y, Urakami T, Aoki Y: On-site Gram staining that increases a post-test probability of an iminous infection: a case report of necrotizing fasciitis caused by *Vibrio cholerae*. J Med Case Rep 17.9 1-4, 2023.

学会発表

国内全国規模の学会

- 1 青木洋介：専門医共通講習：抗菌薬の適正使用. 第50回日本集中治療医学会学術集会. 2023, 3, 2.
- 2 青木洋介：抗菌スペクトル（広さ）の数値化の試み：AST スタッフ間での比較. 第71回日本化学療法学会学術集会・第92回日本感染症学会学術講演会. 2023, 4, 28.
- 3 青木洋介：本学術集会の国際化への取り組み：英語同時通訳団設置の提案. 第71回日本化学療法学会学術集会・第93回日本感染症学会学術講演会. 2023, 4, 29.
- 4 青木洋介：抗菌化学療法認定医制度 審議委員会報告. 第71回日本化学療法学会学術集会・第94回日本感染症学会学術講演会. 2023, 4, 29.
- 5 青木洋介：三次医療機関で経験する高齢者の結核（エキスパートセミナー3）. 第98回日本結核・非結核性抗酸菌症学会総会・学術講演会. 2024, 6, 10.
- 6 青木洋介：事例に学ぶ医療関連感染症：治療の前に予防を. 日本ペインクリニック学会 第57回学術集会. 2023, 7, 14.
- 7 青木洋介：伝播の法則：感染拡大を規定する四大因子について. 第62回日本臨床細胞学会秋季大会. 2023, 11, 4.
- 8 浦上宗治：経口抗菌薬の特徴とスイッチ治療の実践法. 第97回日本感染症学会総会・学術講演会, 第71回日本化学療法学会学術集会 合同学会. 2023, 4, 28-30.
- 9 浦上宗治, 濱田洋平, 岡 祐介, 於保 恵, 青木洋介：耐性腸内細菌目細菌に対するタゾバクタム／セフトロザンのPK-PD 解析. 第97回日本感染症学会総会・学術講演会, 第71回日本化学療法学会学術集会 合同学会. 2023, 4, 28-30.
- 10 浦上宗治：コロナ禍における薬剤師の役割. 第38回日本環境感染学会総会・学術集会. 2023, 7, 20-22.
- 11 ○岡 祐介, 濱田洋平, 浦上宗治, 於保 恵, 青木洋介：大腸菌菌血症の臨床的検討（第2報）佐賀大学医学部附属病院感染制御部 岡 祐介. 第97回日本感染症学会総会. 2023, 6, 28-30.
- 12 濱田洋平：Empiric therapy にカルバペネムを含まない工夫. 第97回日本感染症学会総会・学術講演会 第71回日本化学療法学会学術集会. 2023, 4, 28.
- 13 濱田洋平：ICD 講習会 患者と職員を守る感染対策の基本. 日本ペインクリニック学会 第57回学術集会. 2023, 7, 15.

地方規模の学会

- 1 青木洋介：インフルエンザ感染症の臨床・疫学的アップデート. 第72回日本感染症学会東日本地方学術集会・第70回日本化学療法学会東日本支部総会. 2023, 10, 26.
- 2 青木洋介：臨床医は診断エラーをいかにして避けることができるか：Language is a window into our mind. 第91回日本呼吸器学会九州支部秋季学術講演会. 2023, 10, 28.
- 3 浦上宗治, 濱田洋平, 岡 祐介, 青木洋介：低タンパク血症患者ではバンコマイシンのタンパク結合率は低下している. 第82回九州山口薬学大会. 2023, 9, 23-24.
- 4 浦上宗治, 濱田洋平, 岡 祐介, 青木洋介：バンコマイシンの遊離型濃度に関する予測モデルの構築. 第93回日本感染症学会西日本地方学術集会・第71回日本化学療法学会西日本支部総会 合同学会 合同学会. 2023, 11, 9-11.

その他の学会

- 1 青木洋介：Spread and Stop：伝播の法則と抗ウイルス活性. Influenza Web Conference. 2023, 1,

- 25.
- 2 青木洋介：Turnny of Metrics：医療学術機関における数値化の功罪。愛知医科大学大学院特別講義。2023, 1, 27.
 - 3 青木洋介：診断エラーの制御：思考の能動的誤り方を知り，それを避ける。新・ASUIISHI 臍高質安全責任者養成講習会。2023, 2, 2.
 - 4 青木洋介：コロナ禍の HIV 感染症。第 8 回九州 HIV 看護研修会・第 5 回九州 HIV ソーシャルワーカー研修会。2023, 2, 18.
 - 5 青木洋介：呼吸器 RNA ウイルス感染症の治療薬を有することの意義：ゾコーバ錠の臨床的役割について。信州感染症セミナー COVID-19 Up to Date。2023, 3, 17.
 - 6 Yosuke Aoki: Significance of Treatment for Patients Without Risk Factors. Ensitrelvir in COVID-19: Global Medical Advisory Board. 2023, 4, 15.
 - 7 青木洋介：Stop Going Viral！抗ウイルス薬の役割。名古屋市昭和区医師会学術講演会。2023, 5, 13.
 - 8 青木洋介：加齢に伴う感染症の特徴とその予防について。令和 5 年度武雄市民大学。2023, 5, 17.
 - 9 青木洋介：感染対策 Fundamentals. 青森県感染症フォーラム。2023, 5, 30.
 - 10 青木洋介：抗菌薬適正使用の戦術。感染症 Virtual Meeting。2023, 6, 8.
 - 11 青木洋介：今日からの感染対策：より少なく，より良質に。JCAHO 中京病院セミナー。2023, 6, 9.
 - 12 青木洋介：広く考え，狭く始める：タゾバクタム・セフトロザンの適正な航法。第 9 回東北抗菌化学療法研究会。2023, 6, 17.
 - 13 青木洋介：最小にして最大のリスクを回避する：肺炎球菌ワクチン啓発に関する感染対策地域連携の役割。地域感染症予防推進カンファレンス in 九州。2023, 7, 20.
 - 14 青木洋介：最小にして最大のリスクを回避する：肺炎球菌ワクチン啓発に関する感染対策地域連携の役割。地域感染症予防推進カンファレンス in 中四国。2023, 7, 24.
 - 15 青木洋介：Stop Going Viral！抗 RNA ウイルス薬の真価。尾張東部 COVID-19 セミナー。2023, 8, 26.
 - 16 青木洋介：肺炎球菌ワクチンの真価を問う視点。成人用肺炎球菌ワクチン Online セミナー。2023, 8, 29.
 - 17 青木洋介：感染症診療を規定する四大因子：患者さん・微生物・抗菌薬・医師の考え方。天山・大山感染症セミナー 2023。2023, 9, 2.
 - 18 青木洋介：入院診療に潜む患者へのリスク：発熱に対する抗菌薬投与。令和 5 年高知大学医学部附属病院・院内研修会。2023, 9, 29.
 - 19 青木洋介：専門医共通講習：誤嚥性肺炎の予防と治療。第 12 回日本精神科医学会学術大会。2023, 10, 12.
 - 20 青木洋介：感染症診療に潜む思考・考察のピットフォール。第 3 回神奈川感染症セミナー。2023, 10, 13.
 - 21 青木洋介：最小にして最大のリスクを回避する：肺炎球菌ワクチン啓発に関する感染対策地域連携の役割。地域感染症予防推進カンファレンス in 鹿児島。2023, 11, 14.
 - 22 青木洋介：平時の医療，有事の社会機能を震撼させる感染症：専門医養成への期待。鹿児島大学大

- 学院医歯学総合研究科寄附講座 感染症専門医養成講座記念講演会. 2023, 11, 20.
- 23 青木洋介：優れた抗インフルエンザ薬であることの証し：バロキサビル・マルボキシル. SHIONOGI Web Conference. 2023, 11, 22.
- 24 青木洋介：患者安全，耐性菌抑制，働き方改革のための抗菌薬の取り扱い. 広島感染対策セミナー. 2023, 11, 30.
- 25 青木洋介：薬剤師の先生方から患者さんにお伝え頂きたいこと：医師からは少し伝え難い抗ウイルス薬の真価. 愛知県病院薬剤師会感染制御部会 令和5年度学術講演会. 2023, 12, 7.
- 26 青木洋介：冬季上気道炎感染症の診療：抗ウイルス薬の真価について. 名古屋南部感染対策セミナー2023. 2023, 12, 11.
- 27 青木洋介：Sino-pulmonary infection におけるインフルエンザウイルスの関わり：抗インフルエンザ薬による制御について. 令和5年度知多半島耳部咽喉科特別講演会. 2023, 12, 16.
- 28 青木洋介：抗ウイルス薬の臨床・疫学的評価：変異ウイルスの適正な解釈について. 福井県小児感染症フォーラム. 2023, 12, 19.
- 29 浦上宗治：病棟でよくみる感染症に強くなる－病棟薬剤師が実装したい診療支援のポイント－. 第13回宮崎県病院薬剤師会感染制御・抗菌薬化学療法研修会. 2023, 2, 1.
- 30 浦上宗治：診療報酬を活かした，日本版抗菌薬適正使用の進め方. 第12回薬剤師のための大阪 Shin 感染症治療研究会. 2023, 2, 10.
- 31 浦上宗治：感染症診療を支える TDM の実践法. 第2回千葉県感染症専門・認定薬剤師講習会. 2023, 2, 18.
- 32 浦上宗治：不安を自信に変える抗菌薬適正使用のファーストタッチ. 令和4年度第2回 Kagawa Infection Seminar. 2023, 2, 24.
- 33 浦上宗治：病棟で遭遇する感染症. 令和4年度第3回佐賀県病院薬剤師会 感染制御認定薬剤師・抗菌薬化学療法認定薬剤師育成研修会. 2023, 3, 11.
- 34 浦上宗治：薬剤師が取り組む，抗菌薬適正使用の流儀. 第21回スカイツリーライン薬物療法研究会. 2023, 3, 15.
- 35 浦上宗治：ここからはじめる，外来の抗菌薬適正使用戦略. 水辺の森ファーマシーセミナー. 2023, 3, 24.
- 36 浦上宗治：COVID-19治療薬の実践的な特徴と使い分け. 佐賀県医師会学術講演会. 2023, 3, 29.
- 37 浦上宗治：抗菌薬適正使用支援の実践解説－明日から使える知識で抗菌薬が得意になる－. 第24回福岡県病院薬剤師会筑後支部会感染制御研修会. 2023, 5, 31.
- 38 浦上宗治： β ラクタム系抗菌薬. 令和5年度第1回佐賀県病院薬剤師会感染制御認定薬剤師・抗菌薬化学療法認定薬剤師育成研修会. 2023, 6, 10.
- 39 浦上宗治：抗菌薬適正使用支援活動のリアルー広域抗菌薬の温存と感染症治療を両立させる－. 甲信越地区感染研究会. 2023, 6, 28.
- 40 浦上宗治：抗菌薬の届出制・許可制の実践法. 第21回佐賀県病院薬剤師会感染症 ハイブリッド研修会. 2023, 7, 29.
- 41 浦上宗治：抗菌薬適正使用のリアル実践ガイドー薬剤師として広域抗菌薬を温存し，感染症を治す－. 令和5年度第1回富山県病院薬剤師会感染制御研修会. 2023, 8, 26.
- 42 浦上宗治：経口抗菌薬を使いこなす. 令和5年度第1回岩手県病院薬剤師会 感染制御セミナー.

- 2023, 8, 27.
- 43 浦上宗治：薬剤耐性（AMR）対策アクションプラン2023～2027に向けての取り組み 佐賀大学の現状 薬剤師の立場から. 2023年度国公立大学附属病院感染対策協議会九州・沖縄地区ブロック別研修会. 2023, 8, 28.
- 44 浦上宗治：薬剤師が実践する肺炎の抗菌薬適正使用支援－肺炎の診療支援で求められる身体所見, 検査, 抗菌薬の知識－. 千葉県病院薬剤師会南部支部（君津木更津地区）研修会. 2023, 8, 29.
- 45 浦上宗治：キノロン系抗菌薬. 令和5年度第2回佐賀県病院薬剤師会感染制御認定薬剤師・抗菌化学療法認定薬剤師育成研修会. 2023, 9, 9.
- 46 浦上宗治：抗菌薬適正使用支援における薬剤師の役割と実践. 明治薬科大学コース総合特論・演習. 2023, 10, 3.
- 47 浦上宗治：妊産婦の感染症と抗微生物薬の使い方. 第1回妊娠・授乳と薬地域医療研修会. 2023, 10, 12.
- 48 浦上宗治：わかる！できる！抗菌薬適正使用. 天草郡市薬剤師会講演会. 2023, 10, 18.
- 49 浦上宗治：結果が出る抗菌薬適正使用支援の進め方. 第29回秋田県薬剤師感染制御研究会. 2023, 11, 25.
- 50 浦上宗治：抗菌薬適正使用支援チームの活動. 独立行政法人国立病院機構九州グループ 令和5年度院内感染対策研修会. 2023, 11, 28.
- 51 浦上宗治：AST 活動の実際と今後の展望について. 令和5年度中四国・九州ブロック日本赤十字社感染管理ネットワーク研修. 2023, 12, 2.
- 52 浦上宗治：佐賀県の抗菌薬使用状況. 第7回佐賀感染防止対策地域連携セミナー. 2023, 12, 9.
- 53 浦上宗治：耐性菌を考慮した抗菌薬選択. 令和5年度第3回佐賀県病院薬剤師会感染制御認定薬剤師・抗菌化学療法認定薬剤師育成研修会. 2023, 12, 9.
- 54 濱田洋平：疾患別抗菌薬選択の考え方. 感染症 WEB セミナー. 2023, 2, 10.
- 55 濱田洋平：耐性菌制御のための抗菌薬適正使用. 福岡西部感染対策セミナー. 2023, 3, 10.
- 56 濱田洋平：関節リウマチ患者で知っておきたい感染症. 第46回佐賀リウマチのケア研究会. 2023, 3, 14.
- 57 濱田洋平：入院患者の発熱をみた時に. 病棟 Web セミナー. 2023, 3, 28.
- 58 濱田洋平：呼吸器疾患における感染症対策と抗菌薬適正使用. Lung Cancer & Infection Control Seminar. 2023, 4, 20.
- 59 濱田洋平：当院の感染制御部の活動と抗真菌薬使用について. 旭化成ファーマ株式会社 社内教育講演会. 2023, 7, 24.
- 60 濱田洋平：①感染症レクチャー 感染症の基本知識. 大山・天山感染症セミナー2023. 2023, 9, 2.
- 61 濱田洋平：これからの抗菌薬適正使用 カルバペネム温存がもたらすメリット. 福岡大学病院 医療安全・感染対策教育研修会. 2023, 10, 3.
- 62 濱田洋平：皆で取り組む抗菌薬適正使用. 西日本感染症セミナー. 2023, 10, 24.
- 63 的野多加志：日本での臨床経験～本邦初の *Candida auris* 血症～. AMR Online seminar “*Candida auris*”. 2023, 11, 18.
- 64 的野多加志：ワクチン Overview 2023. 直方鞍手医師会学術講演会. 2023, 11, 27.

- 65 的野多加志：COVID-19の治療指針と全診療科対応の整備. COVID-19 Web Seminar in 福岡. 2023, 11, 30.
- 66 的野多加志：COVID-19の感染対策と診療体制. COVID-19 Web Seminar in 沖縄. 2023, 12, 14.
- 67 的野多加志：発熱診療の真髄～内科病棟・外来編～. 第29回南九州感染症寺小屋. 2023, 12, 16.
- 68 的野多加志：感染対策の原則. IDATEN セミナー2023. 2023, 12, 17.